

質 問

鳥上幼稚園の週の半分は誰もいない状況はなぜか

内田精彦 議員

町長 保育士の確保が困難な状況にあり弾力的運営をしている



問 町内全部が幼稚園となり最後の三沢幼稚園が開園して1年が経過した。この時点でどの様に感じているのか。

答 幼児園化を終えた今、各園において地域に伝承されている行事や農業者体験など、ふるさとに根ざした保育活動が展開されており、地元小学校への入学を意欲した小学校との連携も積極的に進んでいる。

このような状況から、小人数の幼児教育に対しさまざまな議論があるが、保育所を運営の基盤として幼稚園教育のよさを大切にした幼稚園は、地域の子供たちにとって大切な場である。



鳥上幼稚園

問 鳥上幼稚園は0歳児〜2歳児は横田幼稚園へ、3歳児〜5歳児の10名は週の半分が横田幼稚園だ。つまり週の半分は鳥上幼稚園には誰もいない状況であるが、なぜこの様な保育になっているのか。

答 鳥上幼稚園は平成28年度は弾力的な運営を行っている。0歳児〜2歳児までは本園である横田幼稚園へ入園と、3歳児〜5歳児は鳥上幼稚園に在籍しながら、必要に応じて横田幼稚園との交流保育を行っている。

保育士の確保が困難な状況になったため、この

様な弾力的運営に至った。

問 鳥上地域全体として幼稚園が、今後どうなるのか非常に心配されている。町としてどう対応するのか。

答 保育士の確保に支援策を講じて、出来るだけ残せるよう努力する。

問 5月の邑南町の県道落石死亡事故を受けて、危険箇所の再点検調査した結果と調査の方法は。

答 これまでの落石の事例が発生した25カ所について、建設課の職員が緊急点検を行った。点検は目視で行い、法面の状況や付近の落石状況及び浮き石などの状況を調査した。

結果落石の危険が大きいのと思われる9カ所について応急的対応する修正予算を計上した。

また農林道については、農林土木課職員により危険と思われる13カ所について目視で調査し

異常は確認されていない。

問 落石の危険が大きく思われる9カ所の中に、町道大曲下線は入っているのか。入っていればどの様な対応をするのか。

答 大曲下線については修正予算により応急的対応を行う。落石対策については次年度以降に詳細な調査を行い所要の対策工事を行なう。

問 奥出雲町自治会マップが各家庭に配布され非常に重宝されている。住民サービスからも、集落名、地区名入りの標識看板を設置出来ないのか。

答 自治会の数は116であり、設置には多額の費用がかかる。費用対効果の面から現在整備する考えはない。



落石の危険が大きい大曲下線